

NPO法人 森づくり奈良クラブ

<会報 第94号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス：gvnc@nifty.com
ホームページ：
<http://gvnc.eco.coocan.jp>



◇令和6年度（第16回）通常総会を開催



令和6年6月8日土曜日、午前中に頂上展望台周辺の整備を終え、午後1時から矢田山遊びの森「子ども交流館」で通常総会を開催しました。渡邊さんの司会により開会。奥理事長から今年度の取組みなどを中心とした挨拶のあと、出席者及び委任状で過半数を超えていることを確認し、総会成立が宣言されました。その後、議長に鈴木さんを満場一致で選出。また議事録書名人に清原さん・衛藤さんを選任し総会の議事へと入りました。以下、奥理事長より各議案の説明と質疑及び承認と進み、円滑に終了することができました。主な内容は以下のとおりです。



■第1号議案 令和5年度の活動報告

緑の募金事業「わくわく再生！冒険の森」は立入禁止の森の再生整備に取組み、観察路に樹名札を設置するなど所期の目的を達成した。自然環境教育では奈良市NEWの森林体験講座で竹取り体験やクラフト作成指導の役割を担った。また県要請の明日香村「森の学校」で悪天候の中、講師として指導に当たった。NPO団体等との交流では天川村洞川で前年に続き、ボランティアリーダー養成講座事業を運営した。最後に自主活動の林野庁事業は3年計画の初年度として、小笹の辻から緑ヶ丘遊歩道・管理道周辺の荒れた森林を整備した。これらの報告に会員の異議はなく了承された。

■第2号議案 令和5年度会計報告 会計監査報告

活動計算書・貸借対照表・財産目録を報告。収益及び費用の説明では今回から活動計算書を他のNPO団体と同様に定款の事業毎の収支に改善。また各年度の減価償却費を明確化した固定資産台帳を作成した。その後これらに対する会計監査結果が岡本監事より「正確・適正」である旨報告された。これに対して会員から異議はなく了承された。

■第3号議案 令和6年度事業計画

令和6年度は、みんなの森の植栽後の保育・整備と、林野庁事業小笹の辻から緑ヶ丘遊歩道・管理道の2年目の整備を二本の柱として、頂上展望台・平成の森等も前年度に引き続き継続して整備する。更に夏と秋の管理道・ハイク道の草刈り、冬の境界確認調査にも重点的に取り組む。森林環境教育では県主催イベントに協賛した自然観察やクラフト体験の催しを行う。他団体との交流では、3年目の天川村事業の完結に向けた植樹会を計画し運営する。

これらの計画に対して会員の承認を得た。

■第4号議案 令和6年度活動予算

活動予算書に基づき提案され、会員の承認を得た。



また岡本監事が会計監査を退任したいとお申し出があり、新たに小松さんが監事に就任いただくことになりました。岡本さんありがとうございました。小松さんよろしくお願いたします。



この半期の活動模様

1. 定例活動・・・令和6年1月からのみんなの森を中心とした維持・整備活動

😊 1月13日 曇り 10名参加 午前はみんなの森育苗地と第二次天平の森の笹刈り。そして恒例のぜんざいを作り、おいしくいただいて新年を祝いました。午後は門松などを解体してチップ化し車庫前の泥濘を改善。

😊 1月27日 晴れ 9名参加 午前はみんなの森下部の遊歩道や植栽地の笹刈り。午後は国道308号線を含む遊びの森周辺のゴミ拾いを中心とした清美活動に励み、結構な量の収穫🍄がありました。



😊 2月10日 曇り 10名参加 午前はみんなの森上部育苗地下の(旧畑地)の植林候補地の笹刈りや倒木の処理を行いました。午後は刈払機整備と理事会開催。

😊 2月24日 晴れ 10名参加 午前はみんなの森下部の遊歩道下から柿などの植栽地の笹刈り、笹はこの時期に刈らないと夏に大変なことになります。午後は平成の森の猪被害調査(植えたクヌギに被害)と車庫の柱を補強する材の運搬を行いました。



😊 3月9日 曇り時々晴れ 13名参加 午前は頂上展望台と周辺の笹刈り、1年で背丈以上に伸びていました。午後は平成の森の猪によって荒らされ抜かれたクヌギの再植樹。

😊 3月23日 曇り時々雨 7名参加 終日草木染体験会。全員で草木染めを行いました。真剣なまなざしで指導を聞きながら作業、ひとりで何枚もチャレンジする人も。初の全員参加の企画は大成功でした。



😊 4月6日 晴れ 11名参加 午前はみんなの森の遊歩道ほかの草刈り。その後頂上展望台に移動して皆さんお待ちかねの花見。クラブの先輩が植樹した桜の下でおいしい弁当を頂きました。桜の花がこの日まで咲いていたのはラッキーでした。

😊 4月27日 晴れ 7名参加 みんなの森下部の遊歩道を草刈り。午後上部天平の森周辺の果樹の生育状況を確認。今年は梅は不作。その他の実も出来が良くない感じでした。



😊 5月11日 晴れ 10名参加 午前はみんなの森上部の育苗地と更に上の天平の森（第二期）と遊歩道の草刈りを行いました。午後からは子ども交流館周辺の生垣剪定、及び理事会を開催しました。



😊 5月25日 晴れ 9名参加 工務店横から竹林に続く部分の草刈り、かなり伸びていました。その後国道308号脇の草刈りをしながら交流館に帰りました。午後は前回に続き生垣剪定と理事会開催。

😊 6月8日 晴れ 9名参加 午前は頂上展望台の草及び笹刈り。この時期の草は成長が速いためかなりの量でした。午後は子ども交流館で通常総会。



😊 6月25日 晴れ 6名参加 午前は土砂流入の著しいメダカ池ともみじ谷下部民地の土砂崩れ調査。その後、8月のイベント準備のための檜間伐材搬入。午後は桧の皮むきを行いました。



2. 自主活動・・・令和5年から3年計画の林野庁助成事業

😊 1月7日晴れ 😊 2月4日曇り 😊 3月3日晴れ



令和5年度は小笹の辻南側管理道と遊歩道に挟まれた間と緑ヶ丘遊歩道から管理道萩の台分岐までの南側森林の整備が対象地で、その整備活動を行いました。

令和6年1月から3月は主に管理道・遊歩道近くの林の、ナラ枯れ枯損木の伐倒、倒木の玉切り、寄りかかりなど危険木の除去を中心に取り組み、特に3月は年間の締めとして処置した枯損木等の集積と整理を行って一年目の完了としました。多くの危険木などを処理したことで、明るい安全な森に近づいたと思います。



😊 5月5日晴れ 😊 6月2日曇り



令和6年度は昨年度の範囲から南側斜面に少し拡大して整備活動を行います。（整備地は右の地図の黄色と赤の部分）

4月は行政申請中のため作業はお休みで5月から開始。まずは対象範囲の確認と枯損木などの整理すべき対象の抽出を行いました。

次に倒木・倒れかけた木をまず整理し、その後順にナラ枯れの除去へと進んで、7月以降に作業を本格化します。



奈良県緑化推進協会の主催で本年4月13日（土）、近鉄奈良駅行基前広場で募金活動が行われ、当クラブ有志も参加しました。この募金は「緑豊かな郷土づくり」を目指して、緑環境を育てる活動に使われます。

インバウンド客急増に伴う外国人の多い駅前で、声掛けにはかなり苦労されたようですが、参加の皆様ご苦労さんでした。

東洋アルミ(株)社の社会貢献施策でCO2削減の取組み、の今年度1回目の活動が6月19日（水）にもみじ谷でおこなわれ、当クラブから2名が協力参加しました。好天に恵まれ、もみじ谷で計5名で草刈りに励みました。次回は10月頃行う予定とのことです。

昨年と同様に本年も8月の「奈良県山の日・川の日」イベントに協賛して自然観察会とクラフト体験会を開催します。

矢田山遊びの森内で定員30人で8月10日（土）に実施予定で、すでに何家族かの申込があるようです。7月からの準備と当日の運営など会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。（右の写真は昨年の風景）

本年6月18日頃の大雨で、もみじ谷下部車止め下の池跡横ハイク道付近（民有地）でがけ崩れです。県側は通行止めにしていない模様、誰かが少し土砂を除去したようですが今後の大雨で更に崩壊が進むかも、通行は極力避ける方が良いでしょう。ご注意ください。（令和6年6月29日現在）



会員のページ 兼 編集後記

ネパールへトレッキングに行ってきた

衛藤修二



今年の3月下旬から20日間ほどヒマラヤトレッキングに行ってきました。今回はエベレストの山域で、ゴーキョピーク（5357m）に登り、レンジョパス（5360m）という峠を越えるのがメイン。結果なんとか登り峠を越してエベレストを望むことができました。

3月下旬首都カトマンズ郊外から世界一危険と言われるルクラの絶壁上の短い滑走路に着陸後歩き始めます。道はエベレスト街道と言われ欧米人で往来はにぎやか。物資の輸送はロバ・ゾッキョ（ヤクと水牛の混血）と人力のみ。多くの吊り橋を渡り村をつなぎながら4000mを越えると6000mから8000m台の山々が現れ、降雪や寒風吹きすさぶ気候となりました。

この辺りから高山の雰囲気。4700mを越えるゴーキョという凍った湖の畔をベースに翌日ピークを往復し、さらに翌日峠越え。きつい登りながら上から見る景色は絶景。エベレストを始めとする4つの8000m峰など見飽きることがありませんでした。それから6日後に首都に帰る。

ネパールの森林事情ですが、首都は奄美地方とほぼ同緯度で3月でも暑い気候。また発展途上国特有の大気汚染が深刻です。少し郊外①に出ると稲田や段段畑が多く深い森は見当たりません。山地に行くと、シャクナゲが咲きかけ針葉樹の林もあります。昔住民が森の木々を燃料にしたため伐採を続け、ひどい裸山の所もかなりあったようです。現在このエベレストの地域は木の伐採は禁止。燃料はロバなどで運ぶプロパンガスや乾燥させたヤクの糞が中心らしいです。3000m②くらいでは松の高木も多く鬱蒼とした森もありますが、段々とイブキのようなやや低い木が増え、4000m③付近から低灌木のみ。この辺りではヤク（牛の間間）の放牧が多いため食害もあるかもです。5000m④付近では岩と雪の世界で植物は少なく、更に6000m～8000m⑤では全くの氷雪の世界。⑤の山はエベレストとローツェ・マカルーの8000m峰です。

現在、日本などの協力で、ネパールの所々で苗を育てて植樹が行われていますが、植える松の間間は大地から水分吸収がひどいため土地の乾燥という弊害も出ている様です。

街道の途中の村では帰路（4月上旬）桜がたくさん咲いていました。これはホテル・エベレストビューを建設した前のヒマラヤ観光社長の宮原巍さんが植樹したものらしく、住民やトレッカーに喜ばれていました。

